

### 平成29年度 戌さん亥さん達の田作り

#### ～第11期大椎っ子田んぼ、第8期あすみっ子田んぼ 稲刈り編～

今年は8月に雨が多く、1本植えた苗の分けつが例年より少なかったものの、1本に実る籾の数が多いように見えました。7月の草取りから田んぼを訪れていない子も多く、黄金色に変化した田んぼの姿に驚く子どもたくさんいました。初めての稲刈り、稲縛り、稲運び……子どもたちの奮闘をご報告いたします。

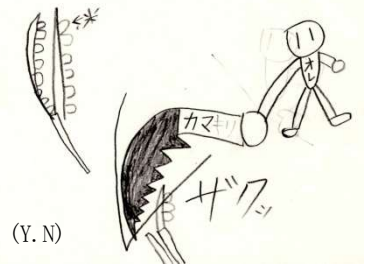
#### ◎大椎小学校 (9月29日実施)

★田んぼに行くと稲がはだ色ようになっていた。草取りをした時にくらべて田んぼの中の生き物が減っていたので安心した。(クモはまだまだいたが……) 友達が刈った稲を持っていたが、稲がふさふさしていたり、ピンととげとげとしていたりした。自分の番になり田んぼに入るといい天気だったので、気持ちよかった。切れ味がよくて楽しかったので2回もやってしまった。稲しばりも1回目は苦戦したが、2回目は完ぺきにできた。(K.O)  
★草刈りの時よりも稲はぐんぐんと大きくなっていて、校長先生が言っていたように黄金に輝く美



しい稲になっていた。ボランティアのお母さんがカマの使い方などを優しく教えてくれた。(M.S)  
★田植えや草刈りの時とは違って田んぼが浅くなったような感じだった。くつしたをはいていたので、前とは感覚が違った。カマを使って稲を刈ったが思っていたよりもむずかしかった。稲をしばった後、自然観察をした。最後にさっき刈った稲を学校に持って帰りプールサイドに干した。また機会があったら、稲刈りをやってみたい。(R.I)  
★田んぼには夏休みに作ったかかしがあった。1つ1つ表情が違っていておもしろかった。稲刈りの説明では稲の持ち方やカマの使いかたに気をつけるようにと言われた。くつしたで田んぼに入ったがはだしとは違う感じで不思議だった。説明の通りに稲を持ちていねいに刈った。やっと最初の1束を刈り、スピードをあげてどんどん刈った。物足りなかったが、交代して稲を結び作業をした。教えられたとおりにやるとかんだんにできた。田んぼには稲が残っていたので、深いところに入って友達と全て刈った。腰が痛くなったけど、スッキリした。お米になるまであと少し、がんばりたい。(J.M)  
★草刈りのときよりもカエルやオタマジャクシなどの生き物の数が減ったように思った。稲刈りで

は初めてのことばかり。まず、カマを使うこと。ザクザクと稲をつつくように刈るのかと思っていたが、ノコギリのように横にひいて使うそうだ。稲を自分とは反対方向にたおしてから根本を切るとのも知らなかった。また、稲を縛る作業も初めてだった。刈った稲をそろえて糸でまず1回くるっと結びキュッときつく結びもう1回くるっとキュッとをくり返して結びと運びのときにはばらけないそうだ。その稲を運び作業も初体験だ。半そでだったので、うでに稲をかけてもらったときにかゆくなるかもと言われたが大丈夫と思ったが、学校についたときに上着をきていれば反省した。全ての作業が楽しかった。(R.H)



★ぼくは生まれて初めて稲刈りをした。カマで稲を刈る時、力任せに刈ろうとしたらなかなか刈れずもって力を入れてしまい、足をきりかけてしまった。この時ぼくはおどろいて怖くなった。この時ボランティアのお母さんが「カマをノコギリのように横にずらしながら刈ると切れるよ」と優しく言ってくれた。言われた通りにやってみると初めの半分くらいの時間と力で刈ることができた。ぼくはうれしくてどんどん刈り続け、軍手がぬれているのにも気づかず、むちゅうになった。水が冷たくて気持ちよかった。(K.T)

★田んぼの中は冷たくて深かったけれど、稲刈りは何束も刈っているうちに楽しくなってきた。自然観察ではヤゴやドジョウ、貝、そして名前のわからない生き物をつかまえて、名前をつけた。ヤゴは大きかったのでデカとげザリガニ、ドジョウにはスモールブチ、貝にはグルグル、名前のわからない生き物は仮面ライダーのような顔をしていて足が長かったので足なが仮面ライダーと名前をつけた。(M.Y)



この時ぼくはおどろいて怖くなった。この時ボランティアのお母さんが「カマをノコギリのように横にずらしながら刈ると切れるよ」と優しく言ってくれた。言われた通りにやってみると初めの半分くらいの時間と力で刈ることができた。ぼくはうれしくてどんどん刈り続け、軍手がぬれているのにも気づかず、むちゅうになった。水が冷たくて気持ちよかった。(K.T)



◎あすみが丘小学校 (9月27日実施)

★初めていねかりの作業を体けんして、とてもむずかしい作業だなと思った。その理由はこのこぎりかまの手まへのほうからすこしずつ引いてくる所がむずかしいからだ。むずかしいからって力ずくでやると後ろにたおれるし、だからといって力が弱すぎるとなかなか切れないからだ。田おこしからいねかりまでやっている人たちは、とてもすごいなと思った。あと、この作業はなかなかできる事ではないので、とても良いきちょうなたいけんだなと思った。もしできるきかいがあったらぜひ、また体けんしたい。もう、もしかしたらここ(あすみ田んぼ)に来ることがないかもしれないけど、きちょうな体けんができてとても良かったです。(H.I)

★いね刈りをする前までは楽しみだったけど、かまを持ってみると少しきんちょうした。でもやっていくうちに慣れてきて、楽しくいね刈りができた。少し前に植えたのに、こんなに大きくなっておどろいた。今はいね刈り機で刈っている農家が多いけど、昔の農家は大人だったことを知って、新しい

(K. I)



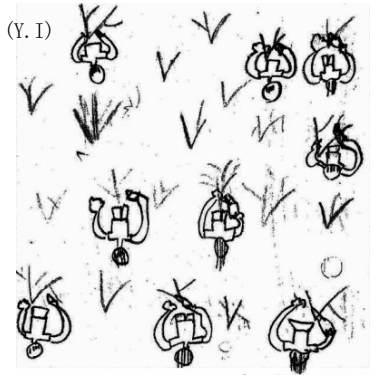
たいけんもできた。この自分だちで作った米をいつかおいしく食べたいです。(M.S)

★3回目のあすみ田んぼでだんだん慣れてきた。でもやっぱり土の中に入る時は変な感じがした。稲をつかんでのこぎりがまで切った。切れたしゅん間、心の中のなやみなどがすべてかき消された気がした。刈った稲を持つと農家の方々が言っていたように、いままで育ててきた思いがつまってとてもおもしろく感じた。でもそれは良いおもしろいので、心は幸せでいっぱいです。早く食べたいなと心から思った。田んぼに行くのはこれで最後なので少しさびしいです。これからも農家の人に感謝の気持ちを持って食べていきたい。(H.I)

★天気がよく、とても暑かった。いねかりのやり方はわかったけど、最初は力の弱い人はだいじょうぶなのかなと思った。でも実際にやってみると「ザクッ」と葉が切れていったのでおもしろかった。とちゅう、お手伝いをしてくれているお母さんに、上手といわれてうれしかった。帰りにいねをもつて帰りながら、みんなが汗を流しどろだらけになりながらつくった大事な大事ないねの重さをじっくりとかんじながら大切にもつて帰った。(H.A)

★田植えしたときは、短く小さかったのに、大きくのびて成長していきびっくりした。お米の実がついた稲は写真でしか見たことがなかったので、実際に見てみたら、稲の先全体にお米がついているわけではないことがわかった。お米の実をさわってみたら、いつも食べているようなやわらかいお米ではなく、ちゃんとからのついたじょうたいでこれがお米になるんだ〜と実感した！これまで、あすみ田んぼでしてきたことをこれからの生活に生かせるようにしていきたい。(M.K)

(Y. I)



★稲刈りをしに行ったら米ができていて、5月に田植えをした時より大きくなって実もついて、色もみどり色がきみどりくらいまでかわっていた。1番びっくりしたのは、苗のあいだをあけて植えたのに、田んぼ一面がちょっとすい茶色い実とか葉っぱでびっくりした。かまをもって刈る時はかんたんだと思って、少し力を入れてのこぎりを使うように手前にひくようにしたけど、むずかしかった。でも楽しかった。(A.I)

★稲かりもかまをつかうのも初めてだったのでとてもドキドキした。田んぼの中に入ったら足の半分はいてびっくりした。初めはあまり上手にできなくて、ボランティアの人にアドバイスなどをもらってはじめては上手にできた気がした。みんなが刈った稲がとっても多くてびっくりした。しゃがんで稲を刈るのはこしがいたくなった。農家の人は稲を刈る時、こしがいたくなるぐらいがんばってくれているありがたさがわかった。とってもいい勉強になりました。(Y.I)

(H. I)

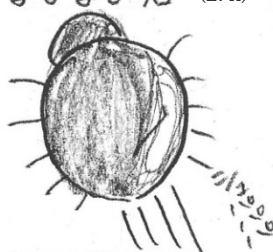


★私ははじめて稲かりをした。そしてはじめて「かま」という物を使った。今回、あすみ田んぼに行くのは三回目だ。かまの使い方がぜんぜんわからなくてとてもこまっていたら、ボランティアさんがやさしく教えてくれた。「右ききだったら右でかまを持って左で稲をもつんだよ」といってくれた。また、稲かりなどをするようになったときは、きちんとした持ち方で稲を大切にやってみたい。(K.I)

(H. S)



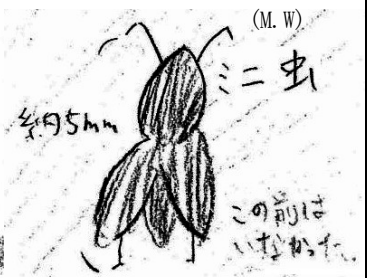
まるまる君 (E. K)



青い花 (Y. S)



(M. W)





# 里山たんけんレポート

## 第 213 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2017年10月1日(日) 晴れ

トンボの調査をかねて行いました。トンボは捕えて種、雌雄の別を記録し翅裏にマークをして放しました。8種 116頭を記録しました。内アカネの仲間は4種 105頭でコノシメトンボ、マイコアカネが昨年に引き続き記録できませんでした。総数では昨年を少し上回る状況でした。

子ども達はトンボ取りの腕を上げ活躍してくれました。下流部の栗の木の下にはイノシシの足跡がありました。イノシシがクリを食べている可能性もありそうです。

アケビは口が割れているものもありましたがまだちょっと早いようでした。

ヤマノイモのムカゴが目につくようになってきました。道々口に運び秋の味覚を味わいながら巡りました。

(参加 大人7名、小学生2名、幼児1名；報告・写真 網代春男)



## 第 212 回 下大和田YPP「古代米稲刈り」

2017年10月21日(土) 雨

終日雨模様でしたが緑米は既に倒伏がひどく、台風で更に倒伏、水に浸かる恐れがあり稲刈りは延期せず実施しました。

泥深い田んぼで足を取られながら、雨で緩んで滑る畦に悪戦苦闘しながら刈りました。

台風に備え稲束はおだに掛けずにおだ小屋に積み、台風が過ぎた後におだ掛けすることにしました。今日も赤ちゃんが4頭入っていたカヤネズミの巣が緑米の稲株に付いていました。

小川にたま網を入れて遊んでいた子どもはミズカマキリを捕まえていました。

(参加 大人12名、小学生2名、報告・写真 網代春男)



## 第 149 回 小山町 YPP「コシヒカリの脱穀・古代米の稲刈り」

2017年10月9日(月) 晴れ

穏やかな秋の晴れ間にコシヒカリの脱穀をしました。天気の良い日が多かった為、稲が湿って脱穀しにくかったですが、無事に脱穀ができました。

(参加 大人8名、小学生1名、報告・写真 稲富理枝)



29日は古代米の稲刈りを予定していましたが、台風21号の影響で中止となりました。その後、平日に作業を進め、稲刈りとともに、一年使われ、各所で崩れてしまった水路と畦の整備が進んでいます。水路整備ではYPPでも抜きんでたパワーを誇るメンバーがフル稼働、急ピッチで、且つ端正に仕上がって行きます。滞ってしまっていた水の通りが復元すると、田んぼはみるみる息を吹き返す様です。(報告 稲富理枝、写真 松下恵美子)

## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 10月5日 ミソバ咲く(たんぼぼ)  
10月9日 暖もどり、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ラストスパート。(赤シャツおやじ)。  
10月20日 ハラビロカマキリがたんぼぼや道路、あちこちに弱々しくいる(たんぼぼ)。

### 下大和田

- 10月13日 ヒラタケ発生し始める(2月18日にヤナギの枯木に植菌したもの)(網代)。  
10月18日 シロヨメナ咲く(網代)。  
10月23日 シイタケひとつ発生(2月12日にコナラに植菌したもの)(網代)。  
10月25日 アオジの地鳴きを聞く、今シーズン初(網代)。



## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

**連絡先(いずれも):** ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意:**
- ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。
  - ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
  - ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
  - ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

## ▼下大和田 YPP 第214回「もみすり」・第215回「収穫祭」

「もみすり」米づくり最後の行程、粃殻を取り玄米にします。米作りに参加した方にはお米をお持ち帰りいただきます。場所が農政センターになります。初めての方はご連絡ください。

「収穫祭」今年最後のイベント。収穫に感謝し、緑米で餅つきをしたり、いろいろと楽しめます。

- 日時:** もみすり 2017年11月11日(土)9時00分~16時 \*雨天でも実施  
収穫祭 2017年12月9日(土)9時45分~14時 \*小雨決行
- 場所:** もみすり 千葉市若葉区野呂 千葉市農政センター  
収穫祭 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)
- 集合:** もみすり 農政センター正門前に8時45分  
収穫祭 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円)
- 持ち物:** 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物など。収穫祭ではお皿・お椀・はし。
- 参加費:** 「もみすり」ちば環境情報センター会員および家族 100円、一般 300円、小学生未満無料  
「収穫祭」小学生以上一律500円(食材費を含む特別料金です。小学生未満無料)
- 主催:** ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

## ▼第215回 下大和田谷津田観察会とごみ拾い

木々の紅葉を楽しみながら冬越しにやってきた鳥たちを求めて谷津をめぐります。

- 日時:** 2017年12月3日(日)9時45分~12時 ☆小雨決行
- 場所:** 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)
- 集合:** 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPP に同じ)
- 持ち物:** 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など
- 参加費:** 100円(小学生以上、資料代など)
- 主催:** ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

## ▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

- 日時:** 2017年11月17日(金)9時45分~14時
- 場所:** 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)
- 持ち物:** 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、軍手、長靴、帽子、敷物
- 主催:** ちば環境情報センター

## ▼第150回 小山町 YPP「もみすり」

今年収穫したお米をもみすり機を使って玄米にします。

- 日時:** 2017年12月3日(日) 10:00~12:30、小雨決行
- 場所:** 千葉市緑区小山町 リンドウ広場近隣の農家庭先(ご連絡いただければ地図をお送りします)
- 持ち物:** 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。
- 参加費:** 100円(小学生以上、資料代など)
- 主催:** ちば環境情報センター



赤シャツおやじ

**編集後記** 収穫の秋。みごとに実った稲穂に対峙して、歓声を上げながらも、刈る子どもたちに溢れる笑顔。見守る保護者もみな笑顔。束ねた稲穂を抱え、賑やかに子どもたちが去ると、残された苧田に、やたらと響く、モズの高鳴き。。

秋深し、冬近し。(赤シャツおやじ)